

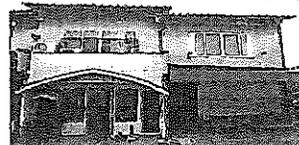
# 大の未来

オリーブだより

2020年度 第一号

久しぶりの「オリーブだより」になります。ご無沙汰しております。みなさんはお元気ですか。私たちはそれなりに元気にしています。

## 一年を振り返って～オリーブの現在地～



令和2年度はオリーブにとって大きな変化のあった1年でした。つらい事、しんどい事もたくさんありましたが、それらの事を一つ一つ受け止めて、皆で考え、歩んできた一年だったと思います。

畑が東野に移転し、心機一転の再スタート…茂っていた草を挽き、小石の多い荒れた土地をみんなで耕すところから取り組みました。メンバーの皆さんもスタッフも力を合わせてよくがんばりました。夏にはキュウリや茄子、唐辛子、秋には待望のサツマイモが収穫でき、例年通り焼き芋を販売することができた時は、もう涙が出るくらいうれしかったです。

つくり手や加工する人、販売する人、買う人、食べる人…これだけ、日々近くに感じて、野菜の味や成長をオリーブ全員で味わえたことは今までなかったことかも知れません。このことも、大きな収穫だったと思います。こういった幸せを感じ・受け取って下さったメンバーさんたち、近所の方々も大勢おられたことと思います。

また、東野では元事務所を改装して加工の為の厨房につくり変えました。畑で採れた新鮮な野菜をみんなで加工し、焼き立てパンや焼き芋、漬物、ジュース等に加工し、前の店舗で販売したり、給食やサロンで、出来立てをお出しすることも出来るようになりました。

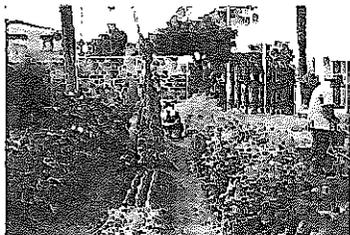
同時進行ですが作業所真向いの家(元ボタン店)を借りることができ、1Fを台所と昼食・休憩スペース、裏庭を野菜の洗い・仕分け作業場に、2Fも休憩室・静養室として整備しました。これによって元の作業所建物は1階も2階も作業スペースとして活用でき、メンバーさんたちの適性や状態等を考慮しながら内職作業に利用してもらうことが出来るようになりました。内職・自主製品の作業はいつもそこにある、安定した作業として、メンバーの皆さんの心のよりどころとなり、オリーブの毎日を支え続けてくれたように思います。

「いつもそこにある」とことは実は簡単な事ではなく、何よりも得難い事だと、気付かされることが多い一年でした。

今年度は、世界的に流行した「新型コロナウイルス」の影響を受け、利用時間の調整や、一泊旅行の中止、給食メニューの制約、サロンの一時営業中止、歌サロン・その他の行事や出店の中止等々…様々な制約を受けた一年でもあり、その余波はいまだに続いています。

そんな中でも、いえ、そんな中だからこそ、オリーブは出来る限り開所し続け、みんなにとって、あたりまえに通えて、ほっとすることのできる場所・仕事場であり続けたいと、そう考えています。これからも、色々な事が有ると思いますが、いつも、「メンバーのみんなにとって、一番大切なことは何か？」という事を考え、話し合いながら、オリーブのあり方を探って行きたいと、そんな思いを一層深めた一年だったな、と、そう思います。

2021年度もみんなで力を合わせて、一歩一歩、歩んで行きましょう！！(正岡)



## パン製造・販売・加工が始まりました

今年度に入り、店舗奥でのパン製造・加工が始まりました。お屋前になるとパンの焼き上がった香りが休憩場まで香ってきます。作る人がいて食べる人がいる。あたり前ですが、それを身近に感じられるのはとても幸せなことです。毎年恒例の焼き芋も販売出来ました。新しい畑で立派に育ったお芋たち。沢山のお客さんの元へと嫁ぎました。

パン作りにもだいぶ慣れてきて楽しいです。  
(s.k)



オーリーブのお店

営業時間: 10:00~18:00

定休日: 火・土・日・祝

私は加工の作業をしています。主な作業はパンの製造、パンに使う具材の加工・販売になります。  
基本のパン生地(2種類)から、毎日7~10種類ほどのパンを焼き販売しています。畑でとれた野菜を使ったパンなどを作っていて、野菜の加工もしています。その他にサロン用のしそジュースや給食用の漬け物なども作っています。初めての作業もたくさんありますが楽しく作業しています。毎週、保健センターでパンと野菜の販売に行っていますが、楽しみにして下さっている方もあり、列が出来ることも。店舗に来て下さる方も増えてきて「美味しかったよ」と言ってもらえると嬉しいです。これからも加工の皆さんと「美味しい」を作っていけたらいいなと思います。(福田)



## つながりと新たなスタート

今日2月21日は、三井寺で毎月第3日曜日に開催されるオーガニックマーケットの日だった。先月に続いて今月もダンス好きの男の子達2人が来てくれて、よつ葉京滋のスタッフさんと同じく皆でアフロヘアを被りステージで未来へのアツい希望を歌い踊った。

「オーガニック&つながるマーケットinしが」は2011年の東日本大震災で起きた福島原発事故の後に保養キャンプ※開催の意志で集った人達の手で始められたマーケット。有機野菜や健康に配慮した食材を使った加工品、手作りの自然素材の生活雑貨などを販売する出店者さん達が月一で集まる。オーリーブホットハウスも関西よつ葉連絡会の一生産者であり、過去には商品を納めていたほか、共同で会員様対象の芋掘り会を開催していた。

このマーケットに来ると他とは違う雰囲気を感じる。店の人達同士で最近どう?みたいなご近所さんの様な会話。出店者の子ども達が走り回ったり流行のカードゲームをしりして遊んでいる。まるで下町の商店街の様。僕自身も毎月楽器や工作の材料を持ち込んで子ども達の遊び場を作らせてもらっている。色々世話になりながらも、こんな下町のような場所に来て皆と顔を合わせていると、ほっと一息つける。自分も、これでいいんだな、ここに居てもいいんだなと感じる。

今年は新たにお世話になった人達が沢山居た。地元の企業様のおかげでメンバーさん達と毎日土に触れることができています。滋賀の畑の方々のおかげでメンバーさん達と美味しい空気を吸いながら思いっきり体を動かして沢山の野菜が収穫でき、地域の方にも買ってもらえている。よつ葉の配達員の方には日野菜の引き売りのために滋賀の畑まで取り来てもらった。一般の規格に比べ大きくなり過ぎた日野菜を運転の合間に生で齧り、その美味しさを会員さん達に伝えて販売して下さった。その思いと行動にロックを感じた。お互いに収入は多くはなかったけれど、これまでずっと続けて来た大切な繋がりをここでやめたくはなかった。その思いに応えて下さった。

そうした様々な人達との繋がりはかけがえのないものだ。目に見えるだけでなく技術として経験として思い出として残るのがメンバーやスタッフの体と心にはあり、それはかけがえのない一人一人の財産であり、またオーリーブの財産でもあと思う。

やる気、元気、しんどい様々な思い、その思いに関わらず、思いがある人が集う限り、オーリーブは沢山の人のたちと関わり、新たなものを生み出し吸収し成長すると思っている。

これからも、オーリーブを楽しみに待っていてください。(アフロ新川)

※保養キャンプ チェルノブイリ原発事故後、数週間、線量の低い地域で安心な水と食料を取り、同時に積極的に免疫力を上げる手当等を行うことで心身の健康が回復される事が実証、確認されている。東日本大震災後、日本や海外の各地で行われている。

## それぞれの一年間を振り返ってとこれから

オリーブに通いながら、みなさんのそれぞれの振り返りと希望をお聞きました。

50に近くなると、老眼に加えて古い傷の差し障ることが多くなりました。諦めると共に、何とか付き合っに行かねばなりません。西洋医学のもたらされる以前、普通の人達はどうやってそういう不便や痛みにつき合っ生活していたのか、古い話を聞いたり自分で想像したりします。そうでもない、「長生きはするもんじやない」と深刻に考えてしまいそうで。(村上)

しんどい時ががんばってオリーブに来てみて、みんなの顔を見たり、畑の作業してると来た時より元気になった時もありました。シフトも増やせて嬉しいです。(匿名)

オリーブに通いはじめたことは良かったです。(本音)  
(文字)

この一年コロナ禍で大変な年でしたが、私のところは、コロナにもかかわらず仕事も普通にさせていただき、大変な年なんです、普通に過ごせました。今年は今で大丈夫かなーと心配ではありますが、皆で頑張っ作業しています。安心できる日が来るようにと祈っています。(育子)

ホット・しそジュース(Y. M)

私の場合のこの一年は、同じ方も多いのかもしれませんが。

が、とても重苦しかったように思います。まず、長い時間をともに過ごしてきた職員さんとの相次ぐ離別がありました。急なお知らせで十分なお別れの叶わなかった方もあり、かなりつらい日々だったという印象です。次には、やはりコロナです。ここでも書いたことがあるぐらいにカラオケや歌は好きなのですが、それをしてはならないという非常に大きなストレスを生む状況は今もお続いています。緊急事態宣言が出たり解除されたりしていますが、丸一年以上お休みになっている歌サロンが再開され、同様に延期中の施設での発表がなされた時こそ、私にとってのコロナ終息宣言ということになるのかもしれませんが。(Eternal17)

去年は自分を取り巻く全てが大きく変化した1年でした。コロナの影響も大きく、オリーブでの過ごし方や、それ以外の生活も大きく変わりました。2度の骨折もあり、その変化についていけずしんどい事がたくさんありましたが、少しずつオリーブに通えるようになって、作業をして、会話をして、改めて人と関わることの大切さを感じた1年でした。(H. F)

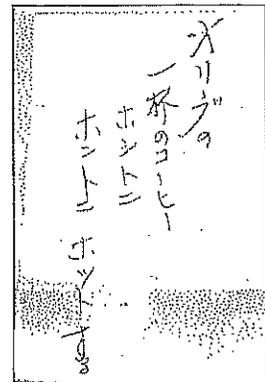
## 新スタッフの紹介



はじめましてとご挨拶して早一年が経ちました。相馬奏と申します。人生という海を渡るとき、オリーブという舟に皆様と乗りあわせたことを仕合せに思います。ふんどし一丁、孤独に荒波を泳ぎ切らなくてもよい。最近そんなことを思います。よろしくお願ひします。

## るまんやましな便り

現在サロン「るまんやましな」は、コロナ対策をしながら通常通り喫茶営業をしています。変わったこともありますが、変わらない時間もたくさん流れています。地域の常連さんがこんな一句を手渡してくれました。



## 施設長のひとこと

「必要性」と「生産性」

雨宮処凛さんと何名かの著名人の方が対談されている「この国の不寛容の果てに」とい本の中で、熊谷晋一郎さんと対談をさている章があります。この本は「自己責任」、「優生思想」、「生産性」といった言葉が社会に溢れていて、その中で実際に行われている命の選別ともとれる事柄に対し、再考を促すような内容です。熊谷さんとの対談の中で「不足しているのは供給よりも需要」という節があり、「生産性」よりも「必要性」の価値を主張されています。みんなが我慢しすぎることによって経済が回らなくなっている、必要だと言えなくなっている、福祉の分野でも我慢して本当は助けてほしいのに、助けてと言えなくなっている。つまり今問題にされるべきは個人の「生産性」ではなく、「必要性」であり、「生産性」とは、誰かの「必要性」を満たした時にのみ、二次的に価値が発生するものだ。こうやって紹介すると少し乱暴に聞こえますが、確かに私たちは今、誰かに右に倣えと言われたように我慢をしすぎている気がします。資本主義や政治経済の話ではなく、日常生活の中で、自分の価値を生産性やスキル等で測られることが当たり前になっており、それが低いとさも自分の価値が低いように思わされてしまう。そのままではいいではなく、今のままじゃだめだと、どこかで言われ続け、声を失ってしまった。もっと単純にこんな風に生きたいとかこんなことをやりたいとか、そんな必要性、希望をもっと声に出して、自己決定のもとで生きることにもっと価値をおいてもいいのではないかと思います。新型コロナウイルスという経験したことがない事態は、これらのことを浮き彫りにさせたのではないのでしょうか。必要のない仕事、必要のないもの、それを生み出し続けるために問われる生産性がいかに不要で価値がないものかを教えてくださいました。エッセンシャルワーカーという言葉が巷で聞かれ、コロナ禍でも人間が生きていくために必要な仕事が注目されています。それは、いかなる経済状況でも普遍的なものであり、そのベースが切り崩される事態は避けるべきです。その為には、私たちほどどこかで口をつぐまされている、自分の生きたいように生きるというとてもストレートな希望をもっと声に出していいのだと思います。ただ実直に他者の「生」を支える福祉の仕事にもっと価値がおかれる社会を目指していきたいと思います。

～着物・糸の寄付のお願い～  
オリブでは寄付で頂いた着物や糸で、いろいろな製品を作っています。頂いたものが形を変えて、誰かの元へ届くよう、大切にに使わせて頂きます。

編集後記

気がつけばたくさんの方の文字でした。編集期間中はたくさんの方の想いに触れ、その意味や、想いを考えたりする時間をたくさんいただきました。いろいろなことが起こるけれど、そして時間はかかるけど、かかるだけできっと大丈夫なんだなと思いながら。今後もオリブでのあれこれをお伝えしていけたらと思います。  
(浜内)

オリブだより  
2020年3月編集発行人・  
編集人  
オリブホットハウス  
社会福祉法人 オリブ  
の会  
京都市山科区東野中井  
ノ上町3-33  
TEL 075-591-4669  
FAX 075-591-4679  
ホームページ  
http://olive-net.info/  
フェイスブック  
https://www.facebook.com

いつもありがとうございます。  
河村京豆腐店様、今枝文子様、岩村チエ子様、佐藤純様、西淵様、林紀代様、平田様、大久保様、吉田悠紀子様、吉田みほ様、村田雄樹様、山田輝見子様、長谷川華映様、仁保千晶様、(株)大隈様、京都奉製(株)様、ダイゴ様、京都ほっとはあとセンター様、認知症予防ネット様、總本山醍醐寺様、春日丘センター様、県民生活協同組合やまゆり様、関西よつ葉連絡会様、(株)よつ葉ホームデリバリー京滋様、竹之内運送株式会社様、食まちアグリゲーション様、無印良品様、つげもん屋いし井様、里地会クリニック様、京都市やましな学園様、浅川亭様、協働ホーム様、ぴあひとまち様、山科工房様、笑人様、エルファ共同作業所様、健らいと様、なかよし会様、Belleit様、京都市文化市民局市民スポーツ振興室様、七彩の風様、溝口テレビ様、ケニアンドアイ様、京都市ごみ減量推進会議様、大宅学区社会福祉協議会様、山科区社会福祉協議会様、大宅学区民生児童委員会協議会様、高齢サポート大宅様、京都市山科青少年活動センター様、カルチュア・コンビニエンス・クラブ(株)様、津乃吉様、東山区社会福祉協議会様、(株)朱常分店様(令和二年二月〜令和三年二月順不同)